

第13期Aコース（クイーンズランド州）帰国レポート

令和7年1月に出発した第13期Aコース20名の研修生が同年11月29日（土）に、オーストラリア・クイーンズランド州から、日本に帰国しました。



〈ホストファミリーとの記念撮影〉

□ 特別プログラム第1日

クイーンズランド州に留学していた研修生たちは、帰国前の特別プログラム会場であるブリスベン市内の Raymont College に集合しました。

特別プログラム1日目は、クイーンズランド州教育省の機関「EQI (Education Queensland International)」のスタッフによるセッションが行われ、留学期間を振り返り、全体で共有し、意見交換を行うことで自身の成果と課題を確認することができました。さらに、ゲストスピーカーのアリ・カドリ氏 (Islamic College of Brisbane) による講演では、AIを取り巻く現状と課題、これからの展望について学習し、AIが日常生活や将来のキャリアにどのような影響を与えるか意見交換を行い、考察を行うことができました。



《セッションの様子》



《Raymont College での集合写真》

□ 特別プログラム第2日

特別プログラム2日目は University of Queensland にて現地の留学生との交流セッションを行うとともに、現地留学生の案内でキャンパスツアーに参加しました。現地留学生や現地スタッフとの交流を通して研修生は自身の留学経験の生かし方や留学後の進路等についても考えました。また、引率のスタッフにこれまでの研究歴やキャリアプランについて質問するなど、今後の学習や研究への意欲を高めている様子がみられました。

2日目の午後は宿舎・研修会場にてオーストラリアでの高校生活についてグループセッション及びスピーチセッションを行いました。

研修生はこれまでの留学生活を振り返り、留学生活でさらに高めた英会話スキルを用いて発表を行いました。発表の内容からは、留学中に経験した様々な学びや、現地のスタッフ・ホストファミリー・友人への感謝が伝わりました。プログラムを通じて、研修生は帰国後の進学や進路について、また、「リーダー」としての今後の目標等を再確認することができました。



《キャンパスツアーの様子》



《グループセッションの様子》



《スピーチセッションの様子》

2日目の最後には研修生一同で、留学期間中にお世話になったスタッフに向けて感謝を込めてお礼の言葉と、サクソとバイオリンの伴奏付きの歌を贈りました。



《お礼を述べる研修生一同の様子》



《現地スタッフとの集合写真》

研修生はこれまでの留學生活・研修で得た様々な経験や感謝の気持ちを生かし、次世代リーダーとして本格的に歩み始めます。学び続け挑戦し、自分なりのリーダー像を模索しながら、東京都や日本、そして世界で活躍できる人として成長していくことを期待しています。